



なだみつ しんたろう

灘光晋太郎 選手プロフィール

1993 年 中央区生まれ / 在住

2022 年 第 24 回夏季デフリンピック競技大会（男子団体 第 3 位）

2023 年 第 45 回全国ろうあ者卓球選手権大会（優勝）

2023 年 第 4 回世界ろうあ者卓球世界選手権
（男子団体 第 3 位、男子シングルス 第 5 位（ベスト 8））

2024 年 第 46 回全国ろうあ者卓球選手権大会（優勝）

TOKYO2025 デフリンピック日本代表

和田胤佳選手 冬季デフリンピックで大活躍！



和田胤佳選手は令和6年3月2日(土曜日)から3月12日(火曜日)にトルコで開催された第20回冬季デフリンピック競技大会トルコ・エルズルム2023のスノーボードパラレル大回転女子およびパラレル回転女子に出場し、2種目で銅メダルを獲得しました！



11月15日
開幕！

東京2025デフリンピック

デフリンピックは、デフアスリート（耳の聴こえない運動選手）にとっての世界最高峰のスポーツ大会

- ・デフリンピックには 1924年以來の、独自の長い歴史があり、
- ・原則としてオリンピックと同じ競技ルールながら、
- ・手話やランプ、フラッグなどを使った音声以外の合図やコミュニケーション手段が必要になります

このため、オリンピックやパラリンピックとは別に、デフアスリートだけが参加する大会として、4年に一度、開催されます。第1回大会はフランスのパリで開催され、第25回目の東京2025デフリンピックは100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催となります。是非みんなで応援しよう！

競技のみどころ

音の代わりに光や旗、手話で合図が出されるため、選手も観客も瞬間の視覚情報に全集中。息を呑む静寂が一転して爆発的な拍手へと切り替わり、競技会場が沸き立ちます。

選手の視線やジェスチャーで生まれる流れるような攻防戦は、通常の競技とは違うスピードと緊張感を味わうことができます。選手の目線を追うと駆け引きが深く見え、静と動が交差する瞬間を体感できます。



©NATSUKI.KATSUSHIMA

デフラグビー(7人制)

7人制ラグビーは、15人制と同じ広さのフィールドで前後半7分ずつで行われます。よって一人ひとりのスペースが広くなりボールの動きも活発なため、とても早い試合展開です。

7人制デフラグビーはルールも一般と同じ。レフリーは笛の代わりにタオルや旗を使います。

ラグビーはパスを後ろにしか出すことができません。

パスをしようと振り返って仲間の位置を確認をしているうちに前からタックルされるので、サインプレーやアイコンタクトなどコミュニケーションを図りますが、よりお互いの相互理解が大切になってきます。みんなで助け合って取ったトライの喜びは計り知れません。

デフラグビーはデフリンピックの種目にはありませんが、2026年に第三回デフラグビー7'sワールドカップが日本で開催されます。

デフサッカー

デフサッカーは、基本は健常者のルールと同じです。競技中は、補聴器を外すことが義務付けられていることから「音のないサッカー」の愛称で呼ばれています。

唯一違うのは、笛の音が聞こえないので、主審は笛とフラッグ両方使用します。

国際試合では、両ゴールの裏に1人ずつ、合計5人のフラッグをもった審判員がプレーの停止を伝えます。

音の聞こえない選手達は、アイコンタクトや手話でコミュニケーションをとり試合を行います！



©JDFA

